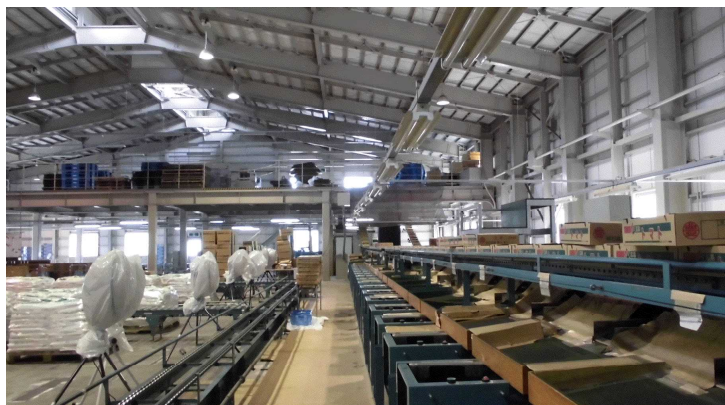


トマト団地を見学してきました



3, 4年生は、総合的な学習の時間「まる豊トマトPR大作戦」の一環として豊松のトマト団地を見学して疑問点などの聞き取りを行いました。選果場はまだ動いていないので、農協の西村さんに鍵を開けてもらい、中を見せていただきました。



選果場では、自動でトマトの品質を判断する機械やトマトをつめる箱も使っただけ自動的に補充されるなど、近代的な設備に感動しました。

また、出荷の多いときには4kgのケースが4000ケースも毎日続くことも教えていただきました。出荷先は、福山や広島市、大阪市が中心で、夏には福山のスーパーにも並ぶそうです。

トマトハウスは、石田さん

のハウスを見学させていただきました。

9棟のハウスに約5700本の苗を育てています。



上の写真のトマトの生長が違うのは、それぞれ4月と5月に植えたからです。



ハウスには工夫もいっぱいありました。

温度を設定しておくとも高くなりすぎると自動で天井が網戸になったり、雨が降り始めると自動で閉まったりします。また、トマトのために扇風機が設置してありました。また、花が咲き始めたら右の写真のクロマルハナバチをハウスの中にはなし、受粉させます。



記念写真の背景に写っている黄色いテープは、害虫を駆除するためのものです。このように無農薬栽培を大切にされた様々な工夫がありました。工夫だけではなく、おいしいまる豊トマトにするために、土作りからはじめ、汗を流して1本1本手作業で苗の世話をされている石田さんもすごいと思いました。帰りにはジュースをいただきました。ありがとうございました。

